

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	萩野センター
	所在地	あきる野市雨間533番地1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館等日数(日)	224	155	204	241	245
延べ利用者数 必須事業(人)	3,220	1,996	2,576	2,963	2,994
前年度比(人)	△238	△1,224	580	387	31
前年度比(%)	93.1%	62.0%	129.1%	115.0%	101.0%
延べ利用者数 自主事業(人)	2,723	1,268	1,666	3,319	3,937
前年度比(人)	△590	△1,455	398	1,653	618
前年度比(%)	82.2%	46.6%	131.4%	199.2%	118.6%
利用料金 合計 必須事業(千円)	2,737	1,697	2,190	2,519	2,545
前年度比(千円)	△255	△1,040	493	329	26
前年度比(%)	91.5%	62.0%	129.1%	115.0%	101.0%
利用料金 合計 自主事業(千円)	2,249	1,040	1,297	2,287	2,727
前年度比(千円)	△415	△1,209	257	990	440
前年度比(%)	84.4%	46.2%	124.7%	176.3%	119.2%

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
収入	指定管理料	14,055	14,070	13,908	14,055	15,198
	利用料金収入	2,737	1,697	2,190	2,519	2,545
	自主事業収入	2,249	1,040	1,297	2,287	2,727
	その他の収入	0	481	0	0	0
	収入計	19,041	17,288	17,395	18,861	20,470
支出	人件費	11,189	10,790	10,732	11,966	11,823
	維持管理経費	5,910	4,651	5,458	5,993	5,583
	自主事業関係経費	1,280	774	866	809	1,043
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	18,379	16,215	17,056	18,768	18,448
収支(収入-支出)	662	1,073	339	93	2,022	

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
常に顧客満足度を意識し、意見箱を常設していつでも要望を受け付けられるようにしています。 日頃から必須事業・自主事業ともに利用者へのこまめな声掛けを心掛け、通所活動や企画のニーズに応える努力をしています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
必須事業・自主事業とも特に苦情はありませんでした。また、両事業とも先に通っている利用者様からの紹介で新規参加する方が複数いらっしゃり、職員の対応や活動・企画内容にご満足いただいている結果と考えます。 自主事業については、問い合わせや要望があった未実施の企画について、利用者や職員への声掛けなどで常に講師を探す努力をしていますが、麻雀ボランティアの増員や将棋サロンなど未だ実現に至っておりません。今後も継続して講師の発掘に努めます。また、麻雀については、中級以上と入門・初級コースで曜日を分けて実施していますが、日程が合わない方に関しては柔軟に対応し受け入れるよう努めています。 今後も利用者様などからのご意見ご要望に対し、信頼や期待に応えられるよう努力します。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
常に市担当課や地域包括支援センター、柔道整復師などの協力を得てセンター周知を行っており、協力連携体制が整っていると感じています。さらに今年度は各自治会で毎月行っている健康の集いの場でチラシなどを配布し、センターの周知に努めました。利用者との日頃の会話から必要に応じて地域包括支援センターに繋げるなどしています。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
日頃から適切な冷暖房の使用に努めています。また、洗濯機の使用頻度を減らすなど業務手順を見直し、購入品は無駄な在庫を持たないように心掛け経費削減に努めました。その結果、物価高騰の影響はありましたが、昨年度より維持管理経費を抑えることができました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業については、市担当課や地域包括支援センターから利用者の紹介が多くありました。利用者数について、上半期は昨年度同時期よりが大幅に伸びましたが、下半期は退所者が相次ぎ大きく減少したため、全体としては伸び悩み、コロナ以前の水準には達しませんでした。利用者数の増加のため、既存の利用者に利用日の追加や振替利用を勧めましたが効果はありませんでした。今後も引き続きお声かけするなど、利用者の増加に努めます。 自主事業については、健康麻雀が軌道にのり、参加者数は順調に伸びています。他にも今まで参加者数が伸び悩んだ講座への参加も増えてきており、今後も更なる増加が期待できます。 常に事業全体の業務改善や職員のスキルアップを心掛け、利用者数増加と経費削減に努め収支バランスの適正化に努めます。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
必須事業の利用者が伸び悩む一方で、自主事業の参加者が増加しており、利用者のニーズをしっかりと把握し企画に取り入れるなど、満足度を上げる事業展開がされていることは評価できます。また、地域包括支援センターとの連携により、利用者の状況に応じて必要な支援に繋げるなど、利用者が安心して施設利用できる環境作りができています。
経費削減の取組
物価高騰の影響がある中、維持管理経費が前年度より抑えられており、節電や節水などへの意識統一がされていることが分かります。また、事務用品や消耗品などの在庫管理を行い、必要最小限の購入に努めています。引き続き、センター運営に支障が出ないよう心がけ、経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
新たな指定期間の一年目でありましたが、既存利用者の維持や人気講座に積極的に取り組むなど、全体的に利用者の増加につながっています。収支についても、自主事業収入が計画値を大幅に上回る一方で、支出を計画内に抑えるなど、安定した施設運営がされています。 引き続き、利用者の増加を図るとともに、安全かつ快適で利用しやすい施設の管理運営に努めてください。

総合評価	A
------	---

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。